

100年前の備前市三石地区の街並みや住民の暮らしぶりを撮影した大量のガラス写真原板が見つかった。デジタル化してプリントし直し、13

日から3日間、同市三石の三石運動公園体育館で開く「三石写真美術館」に展示する。(池本正人)

備前・三石公民館で大量に



100年前の風景、暮らし

見慣れた街並みの歴史 郵便局長を務めた桜間り、名刺大からはがき大クレール工業会社の雪景色の価値を再発見しようと 堀さん(一九八八年、八程度。そのうち約百五十などがよみがえった。一活動している「Mプロシ 十三歳で死去」の親族が 枚が修復でき、三石小学 八九一年に建築された山エクト協議会」の会員たら 寄託されたものらし 板でのテニスや体操、滝陽鉄道(現JR山陽線)ちが三石公民館のロッカ い。で泳ぐ子ども、井戸端洗のれんが積みアーチ橋一内から発見した。三石 原板は約二百五十枚あ 濯などの当時の風俗や、「四列穴門」の完成時に

ガラス写真原板発見

デジタル化し 再びプリント 13日から展示

撮影したらしい遠景写真 正時代と見られる。撮 石公民館の溝口隆一館長も含まれている。 影者は桜間さんの父のは「桜間さんの親族から 詳しい撮影年代は不明 静太さんの可能性が高 聞き取り調査し、撮影だが、桜間さんの確着姿 いが、親族は既に地元 年代を推定できる資料もあり、明治中期から大 を離れ、経歴は分かっ を集めたい」と話して っていない。 いる。問い合わせは同 「写真美術館」では、 公民館(086690208 保存状態のよい写真を中 11)。

見つかったガラス写真原板 を整理する「Mプロシエク ト協議会」の会員 心に約五十点を展示。三



ガラス原板から復元された井戸端洗濯の写真